

兵庫 県協
会 医 協
保 險 西宮
芦 屋 支部
ニ ュ ー ス

No. 323
2015・2・15

発行 兵庫 県 保 險 医 協 会 西宮・芦屋支部
〒662-0832 西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内
連絡先 兵庫 県 保 險 医 協 会 電話〇七八(三九三)一八〇三

阪神・淡路大震災20年の集い

東日本大震災・原発事故と結びつけ、 人権と社会保障を考える

西宮会場に医師・市民ら340人が参加

協会と協会西宮・芦屋支部は、阪神・淡路大震災から20年の節目となる1月17日に、西宮市役所東館で「阪神・淡路大震災20年の集い 阪神淡路大震災―東日本大震災―原発事故」を開催し、医師・市民ら340人が参加した。

5年前に引き続き開催された今回の集いは、「震災経験を語り継ぐ・風化させない・新たなつながりを拓ける」ことを目的に、災害経験の中でいのちと暮らしを見つめ、考える場として開催され、阪神・淡路大震災および東日本大震災についての報告や、京都大学原子炉実験所助教の小出裕章先生と映画監督の鎌仲ひとみ氏の特別講演・対談、被災地の医療・社会保障を考えるパネルディスカッション、心肺蘇生実習コーナー、震災の記録展示、被災地の物産品展など、様々な企画を通じて震災からの20年を振り返った。

と題して、地震の威力の大きさと原発事故がもたらした放射能汚染の状況について報告。その後、小出先生と鎌仲氏が、原発事故時の政府の情報隠しの問題や、電力会社・政府やマスメディアの責任問題、市民一人ひとりが原発をなくすために行動することの大切さなどについて対談した。

報告では、西宮市・広川内科クリニック院長の広川恵一先生が「阪神・淡路大震災一(いち)開業医が経験したこと」と題して、阪神・淡路大震災における開業医師と保険医協会の取り組みや、災害医療と救急医療の違い、ボランティア・看護師の役割などについて講演。また、南相馬市・大町病院院長の猪又義光先生と看護部長の藤原珠世氏が、「東日本大震災の医療現場での経験―地震・大津波・原発事故からの復興の軌跡」と題し、東日本大震災において医療拠点病院として果たした役割と、復興に向けて他職種で協力しあった震災後の4年間の取り組みについて講演した。



開会挨拶する法貴支部長



小出先生(右)と鎌仲氏(左)が国の責任などについて対談した



パネルディスカッションではそれぞれの立場から阪神・淡路大震災、東日本大震災が語られた



ホールには会場いっぱいの340人の医療関係者・市民が参加した

「被災地の医療・社会保障を考えるパネルディスカッション」では、青森市・大竹整形外科院長の大竹進先生、元・岩手県立高田病院院長の石木幹人先生、岩手県立高田病院臨床心理士の行本清香氏、元・宮城県気仙沼市立本吉病院院長の川島実先生、松島医療生協松島海岸診療所歯科の井上博之先生、福島医療生協いの診療所所長の松本純先生が、東日本大震災がもたらした被害・人権権侵害や被災者の健康状態、その後の復興に向けた取り組みなどについてそれぞれの立場から発言。東京都中野区・中村診療所院長の中村洋一先生は、阪神・淡路大震災ボランティアの経験を通じて作成した「災害時医療対策マニュアル」や「中野区医師会災害対策本部」の取り組みについて報告した。また、兵庫県災害医療センター顧問の鶴飼卓先生は、阪神・淡路大震災以後の災害医療体制の改善点と今後の課題について、日本福祉大学名誉教授の金持伸子先生は、公営住宅における高齢化問題などについて報告した。

心肺蘇生実習コーナーでは、西宮市・ユニコの森・村上こどもクリニックの村上博先生、西宮市・あしだこども診療所の芦田乃介先生とスタッフが、DVD映像も用いながら心肺蘇生の方法やAEDの使用方法など、市民に懇切丁寧な実習を行った。また、講演の合間には被災地でコンサート活動も行った二胡奏者の劉揚氏が、中国の伝統的な弦楽器である二胡で「南相馬市民の歌」などを演奏した。ホール入口では、宮古市「かけあしの会」、大槌町「刺し子プロジェクト」、一関市藤沢町「ちくちく工房」や、福島県観光物産交流協会の物産品展示・販売も行われ、好評を得た。

支部忘年会

映像で一年の支部活動を振り返る

2014年12月27日、「木曾路」西宮店で、毎年恒例の会員忘年会を開催。[Medical English]の坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)・Robert Conroy氏、「医療過誤訴訟セミナー」の鵜飼万貴子弁護士(米田泰邦法律事務所)・半田伸夫先生(西宮市・半田医院)、「保険請求事務講習会」の岩下敬正先生(岩下内科クリニック)、「新規開業医研究会」の庄村裕三先生(西宮市・しようむらクリニック)・中島隆世先生(西宮市・なかじま内科クリニック)、「職員接遇研修会」の安岡眞奈美先生(西宮市・安岡クリニック)や、漢方研究会の川崎史寛先生(西



幸原先生の発声で乾杯する参加者

宮市・川崎医院)・長光由紀先生(伊丹市・ウイング調剤薬局)など、日ごろより支部企画の講師や司会でお世話になっている医師など、22人が参加した。法貴憲支部長(西宮市・法貴皮膚科)の開会挨拶の後、幸原久先生(芦屋市・幸原小児科・内科医院)が乾杯の発声を行い、参加者は料理を囲みながら交流を深めた。今年は、支部の企画を振り返るスライドも上映。広川恵一先生(西宮市・広川内科クリニック)の司会のもと、一年の支部の取り組みについて映像で振り返るとともに、新しい年に向けての抱負も語り合い、大いに盛り上がった。



スライドを見ながら一年の活動を振り返った

世話人会だより

西宮・芦屋支部は1月23日に西宮医療会館で世話人会を開催。6人が参加した。

【報告】

- ①支部忘年会(12・27)
- ②阪神淡路大震災20年の集い(1・17)

【予定・企画】

- ①奈良県「春鹿」醸造酒蔵見学会(2・22)
- ②第30回在宅医療研究会(2・28)
- ③メディカルスタッフ勉強会(3・28)
- ③第22回医療過誤訴訟セミナー(4・18)
- ④英語で診療 Medical English #43
- ⑤第32回漢方研究会
- ⑥第25回日常診療ガイドライン【協同行事】
- ①阪神淡路大震災20年メモリアル企画(1・17)

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

第30回在宅医療研究会

【日時】 2月28日(土) 15時~16時30分
 【会場】 西宮市民会館 501 会議室
 【テーマ】 ①業者から見た診療報酬改定後の実態
 ②在宅におけるSAS検査について
 【講師】 ミヤコ在宅医療(株)第一営業部課長 東野 健吾 氏
 【司会】 西宮市・川崎医院 院長 川崎 史寛 先生

メディカルスタッフ勉強会

【日時】 3月28日(土) 15時~17時
 【会場】 西宮市民会館 501 会議室
 【テーマ】 マインド・フルネス(仮)
 【講師】 西宮市・ユニコの森 村上こどもクリニック 院長 村上 博 先生

第22回医療過誤訴訟セミナー

【日時】 4月18日(土) 17時~19時
 【会場】 西宮市民会館 501 会議室
 【テーマ】 医療事故調査制度にどう対応するか?(仮)
 【講師】 現場からの医療事故調ガイドライン検討委員会」委員
 いつき会ハートクリニック院長 佐藤 一樹 先生
 【司会】 西宮市・半田医院 院長 半田 伸夫 先生
 【アドバイザー】 米田泰邦法律事務所・弁護士 鵜飼 万貴子 先生